

平成28年度 公の施設目標管理型評価書

施設名	新潟市黒埼地区総合体育館（有料） ※プール無し		
管理者名	(公財)新潟市開発公社	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日
担当課	西区地域課		
所在地	西区金巻746番地1		
根拠法令	スポーツ基本法		
設置条例	新潟市体育施設条例		
施設概要	敷地面積 12,600㎡ 建築構造 鉄筋コンクリート造 2階建 主な施設内容（構成施設の内容） アリーナ 1,222㎡ トレーニング室 84㎡ 剣道場 278㎡ 柔道場 199㎡		

施設設置目的

スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。

管理・運営に関する基本理念、方針等

- (1)新潟市体育施設条例並びに新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。
- (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用が確保すること。
- (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。
- (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。
- (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。
- (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。
- (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。
- (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	基準利用者数の達成	・個人利用者数 24,400人以上(体育館・トレ・卓球・走路・武道場)	25,638人	A	目標達成
	基準利用率の達成	・利用率平均50%以上(利用時間数/利用可能時間数) ※体育室・武道場を対象	体育室:85.4% 武道場:平均21.6% (剣:41.2%、柔:22.6%、相撲:1.1%) 平均53.5%	A	目標達成
	サービス満足度	・施設利用者アンケートにおける接客の「満足」以上が70%以上	お客様アンケート接客に関する4項目より対応の親切さ:78%、対応の手際よさ:74% 説明のわかりやすさ:77%、知識の十分さ:75%	A	目標達成
	苦情・要望に対する対応	・苦情・要望には7営業日以内に回答	迅速に回答している	A	適切に実施
	設置目的に合致したサービス提供	・スポーツ教室延べ参加者数 9,000人以上	H28:8,219人(前年比107.4%) H27:7,650人	C	目標未達成
財務	使用料収入の達成	・年間使用料収入(免除料金除く)8,329千円以上(但し、大会や市の主催事業等による使用料免除について考慮し評価する)	7,823,145円(H27:7,062,885円) 免除額 325,700円(H27:202,092円)	C	目標未達成
業務	地域貢献・地域連携	・地域貢献活動(連携事業) 年2回以上実施	あそぼつさいCPR指導 西区ウオーク準備体操指導協力 西区まつり体力測定ブース協力 黒埼元旦マラソン協力、フロアカーリング体験会指導 山田小フロアカーリング指導	A	適切に実施
	改善勧告等の対応の迅速さ・適切さ	・改善内容に応じて軽易なもの即日、時間を要するもの1週間以内に改善対応	迅速に対応している	A	適切に実施
	当該施設の管理に係る関係法令の順守	・コンプライアンス研修 年1回以上実施	コンプライアンス研修会参加(武江)	A	適切に実施
	安全確保体制の確立	・防災訓練 年2回以上実施 (消防訓練・救命救急訓練など)	5月2日、12月5日(2回実施した)	A	適切に実施
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・AED取扱講習、応急処置講習を全員が受講	普通救命講習Ⅱ全員受講した	A	適切に実施
	業務基準書等に定める事項の遵守	・その他業務基準書等に定める事項の遵守	遵守している	A	適切に実施
人材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	・職員研修を年6回以上実施	接遇研修 トレーニングルーム指導研修 CPR研修(年2回) 健康教室指導研修(年4回) 防犯、防災講習会	A	適切に実施
	労働基準の充足	・労働関係法令の遵守	遵守している	A	適切に実施

【評価基準】

- A：要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
 B：要求水準（＝評価指標）を達成されている。
 C：要求水準（＝評価指標）を達成されていない。

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

・個人利用者数の評価指標をクリアできたことは良かった。トレーニングルーム・ランニングコースの利用者数がH27:19423人からH28:20430人と増えた。トレーニングルームのマシン配置替えやスタッフ指導の充実、更衣室への無料ロッカー設置などの効果と考えたい。スタッフ研修による指導力の向上を図りトレーニングルームの利用者増を目指すとともに、体育室での個人開放を見直し、パドミントン・卓球他の利用者をターゲットにしたサービスを充実させたい。
 ・利用者満足度のアンケート集計において、H27:49.5%からH28:76%まで向上した。
 ・スポーツ教室の参加者数が9000人の基準をクリア出来なかった。H29年度は教室数を増やした事業計画となっており、継続利用者を増やし目標達成したい。

所管課による総合評価(所見)

利用者の要望を受けロッカーを設置するなど、利用者の利便性を高めるとともに、利用率向上と利用者増のため、空き時間・空きスペースを有効に活用して積極的にスポーツ教室を実施したため、利用者数・利用率共に増加した。
 利用者や競技団体等との関係が良好に保たれているほか、スタッフの挨拶がいつもさわやかで対応も迅速丁寧であり、施設利用者アンケートの「満足」以上が昨年度の平均49.5%から76%に上昇した。
 報告書の正確性に欠けることがあったため、人員体制・管理体制などの業務改善に努められたい。